# パブリックコメント実施結果の概要

| | |
|---|---|
| 案件名 | 玉野市幼保一体化等将来計画（改正版）（案） |
| 募集期間 | 令和２年１２月１６日（水）～令和３年１月１５日（金） |
| 担当課 | 玉野市教育委員会　就学前教育課<br>TEL：(0863) 32-5573　　FAX：(0863) 32-1329<br>E-mail：syuugaku@city.tamano.lg.jp |

## ■意見提出者数等

提出者数：２名（男：１　女：１）
提出方法：メール：１件　ＦＡＸ：１件
意見総数：１１件

## ■意見及び回答

| No. | 意見 | 回答 |
|---|---|---|
| １ | 広報たまので周知したのち、周知期間を１年以上とり、ほとんどの市民、保護者、職員が園の統廃合について知り、市民の意見を集約して、合意に基づいて計画を進めてほしい。 | 本パブリックコメントは、「玉野市パブリックコメント手続に関する実施要綱（平成２７年玉野市告示第８５号）」の規定に従い実施しています。<br>計画の推進に当たりましては、行政が一方的に事を進めることなく、在園保護者をはじめ地域住民や園の職員など市民の皆様と十分に協議を行いながら進めていきます。 |
| ２ | 定員充足率６０％は、非効率な運営ではなく、大変手厚い教育・保育ができているので、待機児童がほとんどいないことや幼児教育の充実をＰＲして、子育て世代を玉野に呼び、人口を増やす努力をしてほしい。 | 手厚い教育・保育の実施と同様に、適切な集団による教育・保育の実施の観点も重要だと考えています。<br>本市で発生している待機児童問題は早急に解決し、「たまの子育てガイド」や「たまの子育てアプリ」などの情報発信ツールを活用し、子育て世代を中心に、人口増加に向けてＰＲに努めたいと考えています。 |

<table>
<tr><td>3</td><td>園の統廃合は地域の再編にもつながるので、まずは地域の要望を聞き取り地域格差がなくなるような方向で計画を練り直してほしい。</td><td rowspan="8">本計画（案）は、本市の将来を見据えた就学前教育･保育の望ましい在り方や幼保施設の適正配置（統廃合）の方向性や考え方を示した計画であり、計画内で示す形は決定事項ではありません。計画中に記載のとおり、状況に応じて必要な見直しを図りながら対応していく事としています。<br>計画の推進に当たりましては、行政が一方的に事を進めることなく、在園保護者をはじめ地域住民や園の職員など市民の皆様と十分に協議を行いながら進めていきます。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>１６施設ある市の幼稚園・保育園を８施設にしてしまおうとする案だが、早急にしないでほしい。</td></tr>
<tr><td>5</td><td>少なくとも鉾立認定こども園は残してもらいたい。</td></tr>
<tr><td>6</td><td>田井幼、田井保は、現状のままでないと施設１００人定員では対処できない。</td></tr>
<tr><td>7</td><td>和田保、和田幼で１つ、渋川保、日比幼で１つの認定こども園ではどうか。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>地域とのつながりを大切にして、地域で子どもを育てる、子どもが見えるように配慮してほしい。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>育休が取得できない職場はまだまだある。０歳、２歳の保育を充実してほしい。</td><td>十分な受け皿確保に向け、今後も一人でも多くの保育士の確保に努めます。<br>また、本計画策定後は、本計画の取組を推進し、全ての年齢児において充実した保育が行えるよう努めます。</td></tr>
<tr><td>１０</td><td>夕方６時の退園を７時まで延長できないか。</td><td>現在、１３園中６園で夕方７時までの利用が可能です。<br>幼保一体化や統廃合等の取組を進めていく上では、延長保育に対する保護者等のニーズの把握に努め、実施の判断を行いたいと考えています。</td></tr>
<tr><td>１１</td><td>ちどり保育園に保育が集中する理由を考え、市として市民のために安心して預けられる保育をしてほしい。</td><td>私立保育所の保育内容や付加サービスをはじめ、私立保育所の利用を希望する保護者のニーズ等の把握に努め、市民の皆様が今よりさらに安心して預けられる園運営が行えるよう検討していきたいと考えています。</td></tr>
</table>